

# 農業委員会だより



横手市

2012.9 No.14



## 若い活力 ～トマトづくりに夢中～

横手市大雄藤巻の小松宏喜さん(28)はトマトの出荷に迫られています。高校を卒業後に県外の農業大学校などで3年間農業を学んだ後、横手に戻り両親とともに農業を行っています。現在は、水稲、大豆のほかハウス7棟にトマトを栽培しています。

取材をしたこの日は朝から気温 30℃を越える猛暑日。気のせいかハウスの中のほうが涼しく感じられるくらい快適に管理されたハウスでした。収穫作業は6月から10月まで続けられます。

担い手不足が深刻化している中、地域の若い活力として期待されています。

## 目次

- 新農業委員の紹介 ..... 2～3
- 農業委員会活動日誌 ..... 4
- 農地の売買・賃借・転用に関するQ&A ..... 5
- 農業者年金・全国農業新聞 ..... 6
- 編集後記 ..... 6

# 新農業委員担当地区決定

写真は地区毎  
(50音順)

氏名  
担当地区



高橋孝次氏  
栄



近江谷久雄氏  
境町



横手市農業委員会  
会長 高瀬俊作氏  
横手

## 会長就任あいさつ

皆様には日頃より、当農業委員会活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

今年三月の任期満了による農業委員の改選に伴い、再度横手市農業委員会の会長に就任いたしました。委員一同、これまで以上に、本市農業・農村振興に努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

さて、二年続きの豪雪や春の暴風に見舞われる等の大きな災害が立て続けにおき、当市でも甚大な被害を受けました。被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

昨今の農業情勢は、農業従事者の高齢化と担い手不足が進む等の構造的な課題を抱えておりますが、国策として今年度から、力強い農業構造の実現に向け、人と農地の問題を解決する「人・農地プラン」を作成し、農業・農村の変化に対応

した地域レベルでの農業構造改善を推進しようとしております。

一方、TPP交渉参加問題につきましては、農業だけでなく、国民生活全般に深刻な影響を及ぼすことが懸念されており、農業委員会系統組織をあげて、参加阻止を訴え続けております。

昨年三月の東日本大震災以来、食の安全性が大きくクローズアップされ、今日、安全な食料を安定して供給することが強く求められております。

こうしたなかで私共は、地域農業の担い手となる農業者を確保育成し、優良な農地を守り利用集積を推進する等、農業委員会としての役割の重要性を再認識し、農業者の信頼に応えるべく全員一丸となつて横手市農業の発展に努める所存でございます。皆様方のお一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



松井長助氏  
旭



小野正伸氏  
朝倉



岩谷寛氏  
西成瀬



小原重夫氏  
金沢



高橋せつ氏  
増田



鎌田進氏  
境町



千葉肇氏  
増田



菊谷篤氏  
黒川